

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成26年6月23日（月）  
14：30～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成25年度事業報告、決算報告について

(3) 平成26年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
平成26年度役員名簿（案）

- 顧問 櫻田 真人（北見市長）  
" 高橋 信夫（北見工業大学学長）
- 会長 永田 正記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 越膳 良臣（北見工業大学同窓会顧問）  
" 倉本 登（北見鉄工協同組合理事長）  
" 西川 孝範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 古屋 聖兒（北見医師会会長）  
" 戸田 龍一（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
- 常務理事 吉田 孝（北見工業大学理事・副学長）
- 理事 太布 康洋（北見信用金庫理事長）  
" 遠藤 雅人（北見ぼらんち会会長）  
" 石澤 徳司（北見地区電気工事業協同組合理事長）  
" 山田 剛（北見歯科医師団団長）  
" 村井 泰彦（北見建設業協会会長）  
" 小泉 勝裕（北見管工事業協同組合代表理事）  
" 山田 義久（協同組合日専連北見代表理事）  
" 梅津 行雄（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 黒部 哲哉（北見観光協会会長）  
" 佐々木 一明（協同組合北見総合卸センター理事長）  
" 佐々木 敏行（北見舗装協会会長）  
" 西野 寛（北見金融協会会長）  
" 清水 大（北見薬剤師会会長）  
" 橘 邦彦（北見工業大学同窓会顧問）  
" 富山 佳男（北見測量設計協会会長）  
" 永田 裕一（北見物産協会会長）  
" 西川 治彦（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 海田 有一（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長、  
北見工業団地会会長）  
" 真柳 正裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監事 小澤 實之郎（北見商工会議所監事）  
" 富田 剛夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）

# 北見工業大学後援会 KITげんき会

平成25年度 事業報告書

## 目 次

1	学生に対する支援	
(1)	大学院学生に対する奨学金支給	1
(2)	語学研修プログラムへの参加旅費の助成	
	ドイツ	7
	カナダ	13
	台湾	19
(3)	短期交流研修（派遣）の助成	
	韓国	25
(4)	インターナショナルCアワー開催の助成	37
(5)	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成	39
2	大学広報等への支援	
	女満別空港広告看板掲出料の助成	41
3	北見ぼんちまつり参加者への助成	43

平成25年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 学生支援課

1 実施事業名

大学院学生に対する奨学金支給

2 事業の概要

博士後期課程 1ヶ月あたり3万円

3 支給対象者報告

博士後期課程

	氏名	所属	学年
1	浜舘 雅人	生産基盤工学専攻	1年
2	三浦 雅弘	生産基盤工学専攻	2年
3	日下 稜	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	2年 (10月入学)
4	田中 康弘	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3年

所属専攻・学年	生産基盤工学専攻 1年次
氏名	浜舘 雅人
報告 ※奨学金を自己の勉学にどのように活用したかについて400字程度で記入	<p>いただいた奨学金は、研究の補助費、また学費や生活費に充てさせていただいております。大学院生の行う業務として、研究はもちろんのこと、公への研究成果の発表が重要になります。この奨学金のおかげで、必要である基礎的専門知識、国内誌および国際誌への論文投稿、学会発表をおこなうことができおり、充実した環境を維持することができています。</p>
謝辞 ※本奨学金を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>私が、アルバイトなどもせずに落ち着いて勉学・研究活動を行えたのも、この奨学金制度によるものです。研究環境をより良いものにすることが出来ております。</p> <p>北見工業大学後援会「KIT げんき会」の会員の皆様に心よりお礼申し上げます。</p> <p>今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。</p>

所属専攻・学年	生産基盤工学専攻 2年次
氏 名	三浦雅弘
報 告 ※奨学金を自己の勉学にどのように活用したかについて400字程度で記入	<p>KIT げんき会から支給された奨学金は、勉学面では学会の旅費や参考文献や学術書などの収集費用にあて、生活面では月々の光熱費などに充てさせていただきました。この奨学金のおかげで集中して勉学および研究活動を行うことができました。</p> <p>研究成果と致しまして、2014年1月に開催された第9回バイオマス科学会議にてポスター発表を行いました。また、同年10月には中国で開催される国際会議、IWMST2014で口頭発表を予定しております。前年参加した国際会議の経験を活かしてより有意義な会議にしたいと思います。また、研究により得られた結果は <i>Holzforschung</i> に学術論文として掲載され、現在 <i>Cellulose Chemistry and Technology</i> の方にも投稿しております。</p> <p>このような成果を上げることができたのは、「KIT げんき会」による奨学金のおかげです。今後も積極的に研究活動に取り組んでいく所存であります。</p>
謝 辞 ※本奨学金を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>KIT げんき会会員の皆様、ご支援いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今まで経済的な不安を軽減し、研究活動に取り組めてこれたのは奨学金のおかげであります。今後とも奨学金を給付して頂いている意味を考え、精力的に勉学に励んでいきます。</p>

所属専攻・学年	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 2年次
氏 名	日下 稜
報 告 ※奨学金を自己の勉学にどのように活用したかについて400字程度で記入	支給していただいた、「KITげんき会奨学金」につきましては、主に生活費の補助として使用させていただきました。私の主な収入源は大学で行っているティーチングアシスタントおよびリサーチアシスタントであり、不定期に入る原稿料や謝礼を合わせても、生活は苦しく、「KITげんき会奨学金」を含めて、ようやく生活が成り立っている状況です。時間的にも定常的なアルバイトをする余裕はありません。また、調査、研究で現場に出かけるときは、雪氷学という学問の特性上、自家用車が無くては研究が成り立ちません。いつでも現場に駆け付けられる体制が必要なため、車を所有していますがガソリン代他、維持費もかかるためこれらの経費にも一部、「奨学金」利用させていただいております。
謝 辞 ※本奨学金を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	私の学生生活にとって、この「KITげんき会奨学金は」無くてはならない存在です。この「奨学金」のおかげで、学業に直接関係の無い、アルバイト等をしなくても済み、研究に専念できる事を非常に嬉しく思っております。多くの学生が卒業後、北見市外に就職する中、学生支援のために多くの会員の方々がこの奨学金に賛同して下さっていることに敬意を表すると共に、「KITげんき会奨学金」受領者の一人として、心から感謝申し上げます。



所属専攻・学年	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻 3年次
氏名	田中 康弘
報告 ※奨学金を自己の勉学にどのように活用したかについて400字程度で記入	<p>支給して頂いた奨学金は、おもに研究活動費として活用させていただきました。私は博士後期課程に進学後、家庭の事情により独自生計を余儀なくされました。アルバイトは行っていたものの、生活費として使用しなければならず、独自の研究活動に制約を受けておりました。奨学金を頂いたことで、アルバイトなどの時間を最小限に抑えることができ、この時間を研究のために使うことができました。また、英語論文の執筆教本や英和および英英辞書の購入費としても使用しました。</p> <p>国際学会に参加した際は学会活動以外の研究活動を行い、他の研究者との情報交換や交流を行うことができ、奨学金を滞在費としても活用しました。</p>
謝辞 ※本奨学金を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度は奨学金を支給していただき、誠にありがとうございます。今回いただいた奨学金は、おもに研究活動費として使わせていただきました。将来、研究者を目指す私は博士論文の研究にとらわれず、独自の活動を積極的に行うことができ、有意義に過ごすことができました。支給して頂いたこと、重ねて御礼申し上げます。</p>



平成25年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2013年8月8日（木）～8月31日（土）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

	氏 名	所 属	学年
1	津川 渚奈於	機械・社会環境系	1年
2	田部井 瑠璃	バイオ環境・マテリアル系	1年
3	岡部 由太郎	社会環境工学科	2年
4	荒川 知子	バイオ環境化学科	3年
5	佐々木 春香	マテリアル工学科	3年

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	津川 渚奈於
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は8月7日から約3週間、ドイツに留学してきました。</p> <p>ドイツ語は話せないものの、海外への不安より海外への期待の方が大きくありました。授業は遅れての参加でしたが、放課後を活用し遅れを取り戻せました。しかし、放課後は勉強ばかりではありません。アイスやソーセージなどをドイツ人とドイツ語でコミュニケーションをとって買うことが出来ました。</p> <p>他にも、週末などはヨーロッパパークやノイシュヴァンシュタイン城など観光地に行くことができ、この上なく充実したものになりました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度のドイツ語学研修がこれほど充実していて、有意義に過ごせたのは支援していただいたKITげんき会会員の皆様のご協力のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境・マテリアル系 1年
氏 名	田部井 瑠璃
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は今回のドイツ語研修で多くのことを学ぶことができました。出発の時は不安や戸惑いでいっぱいでしたが、授業は面白く、担任の先生に本場のドイツ語の発音を丁寧に教えていただきました。ちょっとしたドイツの小話を聞ける機会もあり、また、とてもよい学びの場で過ごすことができ幸せでした。放課後や休日には市内や観光地をめぐり、文化の違いや建造物や自然の美しさを肌で感じ、とてもよい思い出ができました。ドイツの料理もたくさん食べることができました。ドイツ料理の特徴や味付け、とりわけメインとなる食材がジャガイモであることを体感でき、とてもいい経験となりました。また教会のコンサートなどにも参加したり、ドイツの伝統的なダンスを見たりと、決して日本ではできないような体験をいくつもすることができました。</p> <p>またコミュニケーションの大切さについても学ぶことができ、これからの学校生活でも役立てていきたいです。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、ドイツ語研修のための資金援助をしていただき、本当にありがとうございました。大学生活初めての夏休みを、充実した研修課程で楽しむことができました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科 2年
氏 名	岡部 由太郎
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回 8 月の二週目より同末まで語学研修としてドイツまで行ってまいりました。3 週間という短い期間ではありましたが、海外経験が未知の私にとって新鮮且つ有意義なものでありました。</p> <p>普段日本語しか必要ない国に生活している身にとって日本語が通じない生活や授業を通じて語学に対する嫌悪が消えもっと学びたいという欲が芽生えたことは自分でも驚いています。</p> <p>また授業以外にも観光や見学などで見た教会や現地の建物など日本ではあまりみることの出来ない風景に世界は広いということを身を持って知る事ができました。日本人だけでなく他国の留学生と知り合いになれたということも自分にとって一生の宝物です。</p> <p>日本で日本語で知識を身につけそれを発揮することはとても大切であると思っています。しかし、今回語学研修で外国に行き授業を受けたことでそれとは違う世界の人々との交流や日本語以外の言語の必要性を意識できるようになれたとても充実したものでありました。</p>
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度貴会の援助、まことにありがとうございました。援助のおかげで充実した研修を受けることが出来ました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科 3年
氏名	荒川 知子
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修が初めての海外だった私は、最初とても不安が大きかったです。</p> <p>しかし、学校で授業を受け、日々ドイツ語を聞いて約3週間生活をする中で徐々に会話を聞き取ることができるようになりました。日常会話と、買い物、食事や観光のときに使える、ある程度のドイツ語した身に着けることはできなかったが、この三週間で、海外でも生活できる、という自信をつけることができました。</p> <p>また、同じクラスのこと友達になることができ、さらに海外の友人も何人も作ることができました。日本には絶対に経験できないようなこともたくさん経験することができました。世界遺産である、ノイシュバンシュタイン城の見学や、ドイツだけでなく、フランス、スイスへも観光へ行くことができた。日本にはない西洋独特な街並みや、その雰囲気を経験することができました。</p> <p>この語学研修で、海外と日本との文化の違いを感じ、さらにその国のよさ、日本のよさについて考えることができ、この三週間で多くのことを学ぶことが出来ました。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、このドイツの語学研修のための資金援助をしてくださり、誠にありがとうございました。</p> <p>非常に多くのことを学び、また、多くの貴重な体験をすることができました。</p>

所属専攻・学年	マテリアル工学科 3年
氏名	佐々木 春香
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は3週間ドイツで語学研修をしてきました。初めての海外で不安でしたが、とても楽しい3週間でした。</p> <p>ドイツ語の授業では、ドイツ語と英語だけでついていくのに精いっぱいでした。1週間くらい経つと授業になれ簡単なドイツ語が聞き取ることができるようになりました。先生や他の国の留学生は分からないところを親切に教えてくれました。いろんな国の人と交流ができとてもいい経験をしました。そして、もっとドイツ語と英語を話せるようになりたいと思いました。</p> <p>放課後や休日は、ノイシュバンシュタイン城やサッカー観戦、スイスやフランスにも行きました。他の国にも行き、その国の文化や歴史的な建物を見ることができ充実した日々を送ることができました。</p> <p>この語学研修で以前よりも海外への関心が高まりました。この経験をいかし他の国の人たちともっと交流したいと思いました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>ドイツ語学研修の資金援助をしていただき誠にありがとうございます。おかげさまで、充実した3週間を過ごすことができました。</p>



平成25年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（カナダ）

2 事業概要

(1) 研修先

ハンバー工業大学

(2) 研修期間

2013年8月31日（土）～9月29日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

	氏 名	所 属	学年
1	赤田 瞬	電気電子工学科	3年
2	阿部 叶夢	情報システム工学科	3年
3	兒玉 力哉	バイオ環境化学科	3年
4	鈴木 信太郎	社会環境工学科	4年

所属専攻・学年	電気電子工学科・3年
氏名	赤田 瞬
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私はほとんど本州にも行ったことがないにもかかわらず海外旅行に挑戦しました。</p> <p>すべての事細かい物事が新鮮であり鮮明に記憶に残る強い刺激を受ける出来事ばかりでした。</p> <p>現地での生活はカルチャーショックに苦戦するも、日に日に外人への恐怖心が消え、相手に物事を伝える力が身についたと思います。そして英語を話せると、実に多くの人々と会話できることに気づきました。この語学研修ではある程度の英語力しか身につけることができませんでしたが、それでも相手に伝える伝えられる喜びを再認識できたと思います。</p> <p>自由時間にはたくさんの観光地へと足を運びました。特にナイアガラの滝は壮大でかつ美しく深く記憶に残っています。</p> <p>この語学研修でいろいろなものを自分の目で見ることができ大きく価値観が変わった旅となりました。この経験をはじめとしてたくさんの文化に触れたいと思いました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、私達のカナダ語学研修のため資金援助をしていただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、刺激的な夏休みを過ごすことができました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科・3年
氏名	阿部 叶夢
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>この語学研修が人生初の海外渡航となった。研修中にも感じていたが、1ヶ月間の時間はとても短く、短期留学というよりは海外生活のお試し体験のようなものだった。しかしこの機会を利用しなければ、これから先も海外へ行くこともないだろうと思うとこのひと月は無駄ではなかったと思う。</p> <p>ステイ先の方は陽気な女性で、いろいろな所へ連れて行ってもらった。彼女は平日に学校に通い、土日に働きにでるような、忙しい方でそのことを思うと感謝の気持ちでいっぱいになる。</p> <p>ハンバー大学では、小学校に入りたての1年生に戻ったかのように楽しい1ヶ月を送ることができた。先生たちや他国のクラスメートと連絡先を交流できたが、一緒に出かけることはなかったなので、思い起こすと行動を起こしてみればよかったかもしれないと思う。</p> <p>カナダの文化に触れて、英語のコミュニケーションとしての必要性を認識し、また、大学生の勉強の熱心さや彼らの学校を楽しんでいるという感覚に感化された。洋画で見ていたような世界で生活でき、幅広い方面の経験の積むことができた。何か機会があればまたトロントへ行きたい。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>このたびは英語研修に資金援助していただき誠にありがとうございます。</p> <p>おかげ様で掛け替えのない思い出とともに充実した夏休みを過ごすことができました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科・3年
氏名	兒玉 力哉
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は、昨年9月の1カ月間カナダに語学研修をしました。カナダの生活では、平日は朝から午後3時くらいまで授業があり、授業の後は友達とご飯を食べに行ったり遊んだりしてホームステイ先の家に帰っていました。ホームステイ先の人はとても親切でした。休日は、ボゼック先生達とナイアガラの滝などの観光地を巡るなどカナダを満喫しました。また、トロント市内での電車の定期を買っていたので、友達とでもトロント市内ならどこにでも行ったりすることが出来ました。学校の授業は、基本的な文法と長文などを読み問題を解き、またグループでのディスカッションなどの授業がありました。ホームステイ先の料理は肉料理が多くて量も日本とは違ってかなり多かったです。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>皆様の寄付のおかげで充実したカナダでの生活を送ることが出来感謝しております。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・4年
氏名	鈴木 信太郎
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は初めての語学研修、そしてホームステイでしたが、滞在してまもなく現地での生活になれることができ、様々な事に積極的に取り組むことができ、とても良い経験をする事ができました。</p> <p>ホームステイ先ではカナディアンと、授業では様々な国の人と会話を楽しむことができたし、当然ながら会話はすべて英語なので自分の英語力の向上にもなりました。また様々な人との会話からは、コミュニケーション能力の向上にもなったと思っています。</p> <p>放課後や休日にはたくさんの観光地に訪れることもできました。見る人すべてに感動を与える絶景や自然、日本ではみないデザインの建物、また日本とはまったく違ったシステムのお店やテーブルマナーのレストランなど様々な場所に訪れることができ、とても良い経験になりました。</p> <p>視野の広い考え方ができるようになったなど、ここで得た価値観や英語に対する意識は、自分のこれからの人生にプラスになるものだと感じました。</p> <p>機会があればまた留学してみたいです。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度は、我々の語学研修の資金援助をしていただき、本当にありがとうございました。おかげで有意義な1ヶ月間を過ごすことができました。</p>



# 平成25年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

## 1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中華民国・台湾）

## 2 事業概要

### (1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

### (2) 研修期間

2014年2月22日（土）～3月22日（土）

### (3) 助成対象・金額

3万円

## 3 助成対象者報告

	氏名	所属	学年
1	佐山 将太郎	機械・社会環境系	1年
2	下野 雄生	機械・社会環境系	1年
3	安念 宜昭	情報電気エレクトロニクス系	1年
4	中田 康介	バイオ環境・マテリアル系	1年
5	多田 直人	バイオ環境化学科	2年

所属専攻・学年	機械・社会環境系・1年
氏名	佐山 将太郎
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の台湾での研修では、日本ではできない多くの貴重な経験ができました。台湾の人々とたくさん交流することで、多くのことを学ぶことができました。日本語が通じない中で、コミュニケーションをとるので、英語、中国語ができることの大切さを実感しました。簡単な会話ならなんとかできても、細かいニュアンスが伝わらないといったことが多くありました。日本に帰ってからも語学の勉強を続けて、次に台湾に行くときには、もっといろんなことを相手に伝えることができるようになりたいと思います。研修ではさまざまなことを体験させていただきました。そのなかで台湾の文化に多く触れることができました。東洋医学を学んだり、台湾の楽器を弾いたり、歴史的に有名な場所にも多く連れていってもらいました。中国医薬大学の先生や学生が同行してくださったので、交流しながらいろんなことを学びました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>今回の研修のために助成していただきありがとうございました。おかげさまで有意義な一か月を過ごすことができました。これからも語学の勉強を続け、ぜひまた海外に行きたいです。また、勤勉な台湾の学生に負けないように大学での勉強にも取り組みたいです。</p>



所属専攻・学年	機械・社会環境系・1年
氏名	下野 雄生
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回、台湾へ行って日本ではできないようないろいろな体験をさせていただきました。中国語講座では、先生方はみんなユーモアのある方で、中国語を教わる傍ら楽しく授業を受けることができました。これを機に中国語にたいして興味を持つことができましたし、北見に帰った後でも中国語について勉強しようと思いました。ありがとうございました。でもやはり今回の台湾留学において一番自分に影響を与えたのは、学生との交流です。台湾の中国医薬大に来た時は台湾の学生と仲良くできるか不安でしたが、時間がたつにつれ僕らの周りにはたくさんの学生がいることを実感しました。まず中国医薬大にきて最初の週にあったホームステイでは、僕のチューターであった江君とその家族にお世話になりました。江君や家族の方々はとても親切に接してくれて、遠慮することなく、気軽に台南を楽しめました。本当にホームステイの3日間は楽しかったです。この企画のおかげで台南についてたくさん知ることができたと、台湾をもっと好きになることができました。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度の台湾研修にあたり、旅費の助成をしていただき、ありがとうございました。この助成金のおかげで、私たちは、台湾研修というものをより低価格に、またより充実したものにできたと考えております。それと同時にたくさんの思い出や仲間、つながりができました。これからの私の人生における大切な思い出になりました。そのひとつひとつの企画のなかで、今回の助成金のような僕らに対する補助が関わっていたのだと今認識することができました。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	安念 宜昭
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修を通して私は多くの事を得て、多くの事に気付くことができました。異なる文化や食習慣・言語はもちろんのこと、人との出逢いについて学ぶことのできた1ヶ月間だったと思います。「出逢いとは必然」この言葉は私が常日頃から忘れてはならない言葉の1つとして掲げているものです。人と人との出逢いは偶然ではない必然だと。その必然こそが奇跡だと。私は今回の語学研修を通して多くの奇跡と遭遇することができました。また、今回の研修すべてを通して様々な経験をし、多くの思い出を作ることができました。長い歳月とともに記憶は薄れ色褪せていってしまうかもしれませんが、決してゼロになることはないと思います。なぜなら私は多くの友人を得ることができたからです。再び彼らに会う日までさらに成長した自分になれるよう今後の生活を全うしていこうと思います。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>今回の研修に対する旅費の助成をいただき、本当にありがとうございました。様々なことを考えさせられた一ヶ月になりましたが、今後の大学生活に生かしていきたいと考えています。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境・マテリアル系・1年
氏名	中田 康介
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>この一ヶ月、有意義に過ごすことができました。私がこの語学研修に行った動機としては、私は海外に1度も行ったことがなかったので1度行ってみたいからです。そして友達に誘われて台湾は比較的安価で行くことができることを知ったので台湾語学研修に参加しました。台湾研修のスケジュールとしては午前中は中国語の勉強をして午後は課外活動するといった形になっていました。台湾の学生は基本的に中国語ではなく気を遣って英語で話しかけてくれるので会話はすることができました。しかし、英語に関してもこちらの日本の学生とあちらの台湾の学生の語学力の差を感じました。しかし、基本的なコミュニケーションは取れたので安心でした。台湾の方々は私たち異国人に対しても親切で何より積極的な方々ばかりでした。これを機により語学力を高めていきたいと思えます。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>研修への助成、本当にありがとうございました。比較的安価で行くことができた研修でしたが、全て自分でアルバイトをして貯金したお金を使ったこともあり、その点、3万円の助成があったことは、とても助かりました。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科・2年
氏名	多田 直人
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の研修の大きな目的の一つは中国語の習得でしたが、午前中の中国語の授業はとても難しくあまり習得はできませんでした。しかし、台湾の学生の英語力の高さに助けられ、英語力の向上ができたと思います。台湾の英語教育は日本と同じく中学生から始まりますが、日本とは勉強の仕方が大きく違うようで、英会話に力を入れているようです。日本の英語教育が世界とは少し違うということに気付かされました。相手が言いたいことはある程度わかりましたが、自分のしたいことや言いたいことが英語にできずに何度も悔しい思いをしました。自分の英語力のなさを痛感する一ヶ月になりました。また、英語がいかに便利な言語かを実感する一ヶ月にもなりました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>今回の研修に対し、旅費の助成をしていただき、ありがとうございました。母国語以外の言語を使い、コミュニケーションを取ることで、日本では築くことのできない友情を手に入れることが出来ました。これからも国際的な活動を行っていきたいと思います。</p>

平成25年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（韓国）

2 事業概要

（1）研修先

慶尚大学校

（2）研修期間

平成25年9月10日～17日

（3）助成対象・金額

合計30万円（1人につき3万円）

3 支給対象者

	氏名	所属	学年
1	渡辺 江美子	バイオ環境化学科	3年
2	川村 稜	社会環境工学科	4年
3	島崎 将司	バイオ環境化学科	4年
4	諸橋 一浩	バイオ環境化学科	4年
5	吉田 由佳	バイオ環境化学科	4年
6	渡部 大気	バイオ環境化学科	4年
7	角地 優子	マテリアル工学科	4年
8	菊地 秀一	マテリアル工学科	4年
9	小西 啓太	マテリアル工学科	4年
10	鈴木 琢人	マテリアル工学科	4年



所属学科等・学年	バイオ環境化学科・3年
氏 名	渡辺 江美子
<p data-bbox="225 808 387 842">報 告</p> <p data-bbox="225 857 480 976">※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p data-bbox="507 356 1396 483">今回この韓国交流研修で初めて海外に行ってきた皆さんの経験が出来ました。この研修のおかげでもっと海外にいった皆さんの国について知りたいと思いました。</p> <p data-bbox="507 499 1396 624">大学では、韓国語、韓国の文化、韓国の茶道についての講義を受けました。また、観光地や博物館に行き韓国の歴史を学び皆さんの貴重な体験をさせてもらいました。</p> <p data-bbox="507 640 1396 853">また、韓国の伝統的な料理もいろいろと食べさせてもらえて食文化の違いも学び、その体験のなかで韓国語を覚え、少しでも韓国語で韓国の学生とコミュニケーションをとれるよう頑張りました。楽しみながら韓国語を学び歴史や文化を知ることができたと思います。</p> <p data-bbox="507 869 1396 1037">正直、日本を出る前は海外という未知の世界に怖さも感じていました。しかし、一歩外に出れば皆さんの新しい体験ができ自分の視野が広がるとわかり本当に今回参加してよかったですと思っています。</p> <p data-bbox="507 1052 1396 1131">韓国交流研修を終えてもっともっと海外にいった皆さんの新しい経験をしてみたいと思うようになりました。</p>
<p data-bbox="225 1541 387 1574">謝 辞</p> <p data-bbox="225 1590 480 1709">※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p data-bbox="507 1440 1396 1568">KIT げんき会会員の皆様の支援のおかげで研修を有意義に過ごすことができました。この交流研修のために協力していただき本当にありがとうございました。</p>

所属学科等・学年	バイオ環境化学科・4年
氏 名	川村 稜
<p data-bbox="225 808 389 842">報 告</p> <p data-bbox="225 857 480 976">※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p data-bbox="507 360 1378 479">北見工業大学に入学してからドイツ語学研修に引き続き韓国への国際交流は、他ではできないとてもいい経験になりました。</p> <p data-bbox="507 495 1394 853">現地での生活ではハングル文字が飛び交い、英語とはまた違った私にとっての第3言語の中で生活するというものになりました。同じアジア圏なだけあり、日本と街並みが似ていたりと親近感がわくことがありました。また毎日の食事にキムチが必ずでてくるなど全く違った文化を眼で見て肌で感じる事ができました。1週間という短い期間でしたが、内容が濃く、自分の人生にプラスになったと実感しています。今回の経験も踏まえてさらにもっと多くの文化に触れたいと思いました。</p>
<p data-bbox="225 1541 389 1574">謝 辞</p> <p data-bbox="225 1590 480 1709">※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p data-bbox="507 1447 1390 1570">この度、韓国への大学間交流に参加することができたのも、支援をしていただいたKITげんき会会員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。</p>



所属学科等・学年	社会環境工学科・4年
氏 名	島崎 将司
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回、韓国へ語学研修に行くにあたり自分にとって初めて海外に行く経験だったので、日本では感じられないような世界をたくさん感じて帰ってこようと思い、韓国語は一切できませんが期待を十二分にもって語学研修に参加しました。</p> <p>今回の韓国への語学研修を終えて思ったことは、日本とこんなにも近い国なのに多くのことが違い、本当に日本と同じと思えることが少ないのだなと実感しました。交通のルールや衛生管理などが特に違うと思ったし、日本人は真面目で勤勉だと思われるようでしたが、韓国の人の方が真面目で勤勉に感じられました。日本には日本の韓国には韓国の良いところが多々有り、ここには書ききれないことが多々ありますが、今回の研修で韓国の良いところを吸収して帰ってこられたと思います。今回の語学研修に参加できて本当に良かったと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、韓国語学研修に資金援助して下さい、誠にありがとうございます。日本では学ぶことができない、又は感じることでできない経験ができ、これからの人生に活かせるような多くのことを知ることができました。</p>

所属学科等・学年	バイオ環境化学科・4年
氏 名	諸橋 一浩
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>約一週間の韓国交流研修に参加してきました。語学研修ではなかったのに講義などは現地の学生が通訳してくれましたが、いざ街に出ると「トイレはどこにありますか？(ファジャンシル オディエヨ)」や「いただきます(チャルモッケ スミダ)」などほかにも様々なフレーズを覚えました。</p> <p>今回の研修に慶尚大学校から3人の学生が案内役として参加してくれて、約一週間の行動を共にし、今でも連絡をとるほど親密な関係を築けました。先にあげた韓国語のフレーズも彼らから教えてもらったものであり、他にも口説き文句なども教えてもらいました。</p> <p>一週間でこれだけ韓国の事を知り韓国語を知ることが出来るのなら、留学したらどうなるんだろうと思うと興味が湧いてきて仕方が無いというのが今の心境です。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は韓国交流研修のために援助して頂き、ありがとうございます。</p> <p>おかげさまで貴重な経験をすることが出来ました。</p>

所属学科等・学年	バイオ環境化学科・4年
氏 名	吉田 由佳
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は今回の韓国語学研修が初めての海外でしたので、楽しみよりも不安が大きすぎて、想像もできませんでした。</p> <p>街並みはどことなく日本に似ていましたが、当たり前のようにハングルばかりで、なにがなんだかわかりませんでした。しかし、通訳としてしてくれた韓国の友人のおかげで、不安もなくなり、楽しく研修を進めることができました。本場の韓国料理を食べたり、韓国の文化、茶道、ハングルの基礎を学び、どんどん興味が湧いてきて、もっと知りたい！と思うようになりました。そして常に韓国では日本だったらこうだよなあ、と考えていました。韓国の良さも発見でき、また日本についても改めて考えることのできた研修になりました。韓国の文化に触れ、日本の良さも再確認し、出会いに恵まれ、一生の思い出に残る研修でした。ありがとうございました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、韓国語学研修において支援援助していただき、ありがとうございました。</p> <p>無事、研修を終え、貴重な体験ができたのは、KITげんき会員の皆様のご協力があったからです。本当にありがとうございました。</p>

所属学科等・学年	バイオ環境化学科・4年
氏 名	渡部 大気
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は今回、短期交流研修に参加し、韓国へ行きました。韓国語は今まで一度も学んだことがなかったので、少し心配でしたが日本語を話すことができる韓国の学生が迎え入れてくれたので、すんなり現地になじむことができました。講義は韓国の文化や、言葉がメインのものであった。文化について学ぶと、日本に共通する部分（茶道など）もあれば、全く違う部分（食器を持たないなど）があり、同じアジア圏の国だがまだまだ知らないことがたくさんあるのだと思いました。</p> <p>講義だけでなく、自由行動の日には釜山に行きました。釜山は宿泊先のホテル近辺と比べ物にならない程都会で、それぞれ好きなように観光や買い物をすることができました。買い物ではなれない韓国語や英語を使い苦労したが、とても楽しい思い出となりました。</p> <p>この短期交流研修は現地の学生との思い出はもちろんですが、より異なった文化に触れたいと思う気持ちも芽生え、またこのような機会があればぜひ参加したいと思いました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、韓国への短期交流研修の資金援助をしてくださり、誠にありがとうございました。今後も学生への支援、よろしくお願い致します。</p>

所属学科等・学年	マテリアル工学科・4年
氏 名	角地 優子
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>9月10日～17日の8日間という短い期間でしたが、韓国の慶尚大学での短期交流研修に参加できたことは、私にとって視野を広げられる、とてもよい機会になったと思います。</p> <p>大学では、韓国語や韓国のお茶について学ぶことができました。また、薬草のフェスティバルや博物館、復元したお城、飛鳥時代に存在した百済に関する場所、港、釜山など多くの場所に行くことができました。小中学生の時に歴史で、ほんの少ししか出てきた、百済という韓国の昔の国の1つですが、大学生になって、再び触れる機会があるとは、思いませんでした。日本と韓国の文化のつながりを感じました。</p> <p>今回の短期交流研修で、もっといろいろな国に触れてみたいと思いました。留学してみたいとも思いました。グローバル化がかなり進んでいる現在、他の国の文化や様子を触れることによって、その国の人と親しくなれると思います。韓国に行ったことにより、とても親しみを感じることができました。また、韓国に行きたいと思います。8日間は、やっぱり短いです。もっともっと、韓国を知りたかったです。とても、楽しく過ごせた8日間でした。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>今回助成していただき、ありがとうございました。この短期交流研修を有意義に過ごすことができました。</p>

所属学科等・学年	マテリアル工学科・4年
氏名	菊地 秀一
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は今までに海外へ行く事が無かったので、今回の韓国短期交流が初めての海外という事で、大きな期待を持ちながらも、近日ニュースなどで見る韓国の反日運動の事を考えると、不安の方が大きかったのかもしれませんが。</p> <p>しかし、いざ現地についてみるとそこには、顔は似ていても聞き慣れない言葉が飛び交い、日常では目にする事の無いハンブルだらけの建物や看板、外国に来た、という実感が出発前の不安を忘れさせてくれました。ただ、その中でも、日本と変わらない風景が多い事に安心感を持てた事は、やはりどこかで不安を感じていたからだと思います。</p> <p>そして、韓国の同年代との交流の際には、向こうの学生の日本語、英語の能力の高さには驚きました。日本語なんてほとんど私たちと変わらない程流暢で、一週間会話で困る事は一切ありませんでした。自分たちが逆の立場だった事を考えたら、ソツとしました。</p> <p>この交流で、私自身にとってかなりよい刺激を受ける事ができましたので、これから、この経験を生かして頑張ろうと思います。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>自分は、外国には、とても興味があり、いつかは海外の文化に触れて少しでも良いので自らの成長の糧にしたいと考えていました。海外の文化に触れるには、直接その国に行くのが一番であると、思います。ですが、それには、少なからず、時間や費用といったものが必要となります。その中でも、恥ずかしながら今の自分にとっては、金銭面が一番のネックとなっていました。それを、KITげんき会会員の皆様の後押しのお陰で実現する事ができました。</p> <p>自分にとってプラスになる経験ができ、有意義な韓国研修となったのは、KITげんき会会員の皆様の御支援のお陰です。本当にありがとうございました。</p>

所属学科等・学年	マテリアル工学科・4年
氏 名	小西 啓太
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>上記の日程で、韓国の慶尚大学校工科大学との交流研修に参加してきました。</p> <p>現地では、慶尚大学校の教授や学生たちに様々な韓国文化を見せていただきました。韓国に着いて最初の印象は、日本とあまり変わらないという印象でした。気温も風景も夏の日本と変わらず、ただ文字がハングル語に変わった感じでした。</p> <p>しかし、韓国の料理を食べた瞬間に私には、韓国に来た実感が一気に押し寄せてきました。キムチをはじめ韓国には辛い料理がたくさんありました。日本では、辛くても味わう事が出来たけれど、韓国では本物の辛さを身をもって体験しました。伝統料理のサムゲタンなど美味しい料理もたくさんあり韓国の食文化を楽しむことができました。</p> <p>宿泊した晋州に着いて一番感じたことは、静かな街だということでした。車は結構走っているのに、車が出す音が小さく驚きました。ほとんどがヒュンダイの車で日本の車はほとんど見ませんでした。宿の周りには家具の店やアウトドア系の服の店がなぜか集中していました。夜は近くを流れる大きな川と建物の明かりが一体となり綺麗な街でした。プサンのビーチで見た夜景も綺麗で印象的でした。</p> <p>慶尚大学校では、学内の見学やハングル語の勉強をしました。ハングルは英語のような微妙な口の動きが必要で発音も難しかったです。また、学生の語学力が高く英語、ハングル語、日本語を使い会話をしているのを見て驚きました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>韓国短期交流研修に参加できて会員の方々に感謝します。本当にありがとうございます。</p>

所属学科等・学年	マテリアル工学科・4年
氏 名	鈴木 琢人
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は今回の韓国交流研修がはじめての海外だったのでとても不安でしたが、現地での生活に大きな期待をふくらませ韓国へ向かいました。</p> <p>現地でのせいかつはとても新鮮で驚くことばかりでした。向こうの大学の授業では、はじめて学ぶハングル文字の授業であったり、文化も知ることが出来たり、韓国独特の茶道なども見させていただき、とても貴重な体験になりました。</p> <p>特に、ハングル文字に関しては、覚えることが楽しく、パズルのように感じ、より学んでみたいと思いました。</p> <p>1日の自由行動や午後からの自由行動などでは現地の方々とコミュニケーションをたくさん取ることが出来、とても楽しく思いました。</p> <p>全員でお酒などを飲む場などでは、役員の方々、自ら楽しみ私たちもより楽しむことが出来たように感じました。</p> <p>いつも当たり前前の方が当たり前ではなかったので大変でしたが、その気持ち以上に楽しませていただきました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>このたびは、我々の韓国交流研修のため資金援助をしていただき、誠にありがとうございます おかげさまで、充実した夏休みを過ごすことが出来ました。</p>



1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めること、また、日本人参加者が異文化について学ぶことも目的としている。

3 開催報告

2013年 4月26日	ゲームで友達の輪を広げよう
2013年 6月25日	パナマ共和国のお国紹介
2013年 7月16日	絵手紙を描こう
2013年 8月 2日	流しそうめん
2013年10月31日	アラスカ・フェアバンクス留学体験談
2013年11月27日	折り紙
2013年12月19日	インターナショナルコンサート
2013年 1月24日	餅つき

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、全8回の開催を盛況のうちに無事終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

2 事業の概要

図書館に配架されている参考図書で新版が出版されているもの、又は利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し購入する。場合によっては、電子媒体資料の購入に充てることもある。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

皆様からのご厚志により、比較的高価な参考図書を購入し、本学の教育、学習支援のために役立たせていただいております。

この場をお借りし感謝申し上げます。

北見工業大学では、地域住民の方にも大学図書館を大いにご利用いただけるよう一般図書等の充実やコミュニケーションホール等の施設開放も行っております。

今後もより一層開かれた大学づくりを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので応援のほどよろしくお願いいたします。

参考図書（平成25年度）

発注番号	書名	I S B N	叢書名	著者名	発行所	発行年	数量	単価
	触媒便覧	9784061543515		触媒学会	講談社	2008	1	28,980
	コンクリート実務便覧	9784274103568		小林 一輔【監修】	オーム社	2004	1	6,568
	バイオプロダクション	9784339067361		化学工学会バイオ部会【編】	コロナ社	2006	1	3,381
	エコマテリアルハンドブック	9784621077443		山本 良一【監修】	丸善	2006	1	62,790
	面接の虎 面接対策 2015年度版	9784904487174		就職総合研究所	日本シナプス	2013/10	1	1,255
	フルチャージ！就活時事・一般常識（2015年度版）	9784788982987		就活ナレッジ研究会	実務教育出版	2013/07	1	869
	ビジネスマナー以前の社会人の心得―入社1年目から身につけたい（改訂版）	9784820718802		古川 裕倫	日本能率協会マネジメントセンター	2013/09	1	1,159

大学予算より支出 △5,002

合計 7 100,000

## 平成 25 年度 K I T げんき会事業実施報告書

担当課名： 企画広報課

### 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

### 2 事業の概要

女満別空港 2 階出発ロビーへ広告看板の掲出

### 3 広告掲出状況

空港利用者に向けた広報を目的として、平成 17 年 4 月から継続して掲出しています。

平成 25 年 3 月にデザインを一新し、本学ロゴマークの周知とポップで親しみやすいデザインで、幾分堅い工学のイメージを払拭できればとの願いを込めています。



### 4 謝辞

本事業に関し、平成 17 年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



1 実施事業名

北見ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

地域貢献を目的として、北見市の夏祭りイベントぼんち祭り舞踊パレードに、「北見工業大学」チームとして参加し、本学の存在をアピールしました。

3 北見ぼんちまつり参加状況

学生、留学生、教職員 120名の混成チームを結成し、「北見工大」の名前入りの揃いの浴衣を着て囃子詞をかけあう等、祭りを大いに盛り上げました。



4 謝辞

本事業に関し、ご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域との交流を楽しみながら、地域を盛り上げ貢献できるよう邁進していく所存ですので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

**北見工業大学後援会「KITげんき会」**  
**平成25年度決算書**

**収入の部**

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,400,000	2,138,000 円	個人会員(43件) 238,000 円 法人会員(102件) 1,900,000
寄 附 金 等	1,500,000	2,138,000 円	同窓会会員からの寄附(191件) 2,138,000
雑 収 入	500	218 円	預金利息 218
前年度からの繰越	781,235	781,235 円	
合 計	4,681,735	5,057,453 円	

**支出の部**

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	240,000	100,433 円	円
通 信 費	(内訳) 200,000	(内訳) 95,817	印刷物郵送料、返信用葉書
事 務 費	20,000	4,616	事務諸雑費、振込手数料
印 刷 費	20,000	0	
大学援助費	4,281,000	3,287,824 円	
学生に対する支援	(内訳) 3,582,000	(内訳) 2,588,824	大学院学生に対する奨学金支給 1,530,000 90,000円×1人=90,000円 360,000円×4人=1,440,000円 語学研修プログラム参加旅費の助成 600,000 30,000円×5人=150,000円(台湾) 50,000円×4人=200,000円(カナダ) 50,000円×5人=250,000円(ドイツ) 短期交流研修(派遣) 300,000 30,000円×10人=300,000円(韓国) インターナショナルCアワー開催に伴う助成 58,824 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	599,000	598,500	女満別空港広告看板掲出料の助成 598,500
北見ぼんちまつり 参加への支援	100,000	100,500	北見ぼんちまつり参加への助成 100,500
予 備 費	160,735	0 円	
支 出 計		3,388,257	
次年度繰越金		1,669,196 円	
合 計	4,681,735	5,057,453 円	



## 監 査 報 告 書


本会規約第6条第5項に基づき、平成25年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成26年6月18日

監 事

小澤 實之郎 

監 事

富田 剛夫 

# 北見工業大学後援会「KITげんき会」

## 平成26年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	語学研修プログラム参加旅費の助成 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 留学生派遣の助成 インターナショナルCアワーの助成 留学生交流イベントの助成 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成 著名人講演会の助成 屈斜路研修所優待利用の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	ぼんちまつり参加者への助成

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成26年度予算書(案)

収入の部

項目	予算	備考
会費	2,400,000 円	個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円
		法人会員(210口 × 10,000円) 2,100,000
寄附金等	1,000,000 円	同窓会会員からの寄附 1,000,000
雑収入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	1,669,196 円	
合計	5,069,696 円	

支出の部

項目	予算	備考
後援会運営費	240,000 円	
通信費	(内訳) 200,000	印刷物郵送料、返信用葉書 200,000
事務費	20,000	事務諸雑費 20,000
印刷費	20,000	払込取扱票印刷ほか 20,000
大学援助費	3,026,000 円	
学生に対する支援	(内訳) 910,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 910,000 30,000円×7人=210,000円(台湾) 50,000円×7人=350,000円(オーストラリア) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ)
	300,000	地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 300,000
	100,000	留学生派遣の助成 100,000
	100,000	インターナショナルCアワーの助成 100,000
	200,000	留学生交流イベントの助成 200,000
	100,000	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	616,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 616,000
	500,000	著名人講演会の助成 500,000
	100,000	屈斜路研修所優待利用の助成 100,000
北見ぼんちまつり参加への支援	100,000	ぼんちまつり参加者への助成 100,000
予備費	1,803,696 円	
合計	5,069,696 円	

# K I Tげんき会 平成26年度以降の事業について

平成26年度以降の事業

いままでの事業

- ・大学院学生（日本人）奨学金
- ・語学研修プログラム助成
- ・国際ショナルCアワー助成
- ・参考図書購入の助成
- ・女満別空港広告看板掲出助成

- 学生表彰
  - ・地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生をK I Tげんき会会長が表彰
- 著名人講演会
- 地域貢献活動
  - ・ぼんちまつり参加
  - ・留学生派遣
- 屈斜路研修所優待利用
- 地域における国際交流支援
  - ・国際ショナルCアワー助成
  - ・留学生交流イベント助成
- 参考図書購入の助成
- 女満別空港広告看板掲出助成

大学負担

- ・大学院学生（日本人）奨学金
- ・語学研修プログラム助成

# 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。
- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。
- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。
- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。